

# 日刊 勤労千葉

85. 10. 23  
No. 2071

## 11月ストの最先頭にたつ

### (10/19)千葉転支部大会開かる

十月十九日、千葉運転区支部第八回定期大会が開かれ、十万人首切り攻撃に対し、動労千葉の最先頭でストライキに決起する闘う方針を確立した。  
△千葉転支部通信員・発△

### 鉄路を武器に 反動うち破って闘う

大会は白井副支部長の断固たる開会宣言で始まり、デッチ上げ「千葉地本」革マル・嶋田誠のタレコミで不当処分を受けた岩瀬君が議長に立候補し、議事が進められた。

冒頭、永田支部長があいさつに立ち、「鉄路を武器に、権力、右翼、革マルの反動を打ち破り、団結力を出しきって闘おう」と決意を述べた。

小島乗務員分科会長は、「当局の攻撃に一人ひとりが反撃し、十一月ストにむけ最先頭で闘う」と決意を明らかにした。

本部の中野委員長は、①十一月ストを決定した経緯 ②千葉転当局の反動性 ③国労共闘をどうやるのか、について具体的に明らかにし、支部組合員の決起を呼びかけた。

### 「苦しい今こそ 闘うべき」

つづいて、北富士忍草母の会や中江昌夫・船橋市議など、多数寄せられた檄電が紹介された後、白井副支部長より経過報告、内山書記長より会計報告が行われた。

「10・20」にむけ緊迫する三里塚からかけつけられた木内秀次青行隊員より、「用水に反対し、菱田全域に砦をたて、完全粉碎するまで闘う」との決意を受けた後、内山書記長より方針案の提起をうけて、質疑応答に入った。

代議員からは、①十一月ストにむけ国労との共闘は重要であるが、どうすすめるならよいか、②ストライキは当然やるべきだが、処分が出た場合の対策は、③五千万人署名のやり方について、④苦しい今こそ闘うべきだ、との質疑、意見が出され、執行部より答弁を受けた。

### 11月ストうちぬくぞ

大会はマル生粉碎闘争、船橋事故闘争、三里塚ジェット闘争、そして、動労「本部」革マルとの組織闘争等々の闘いの勝利に確信をもち、十万人首切り攻撃に十一月ストを軸とする第一波闘争を断

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二二（七）七



「権力・右翼・革マルの反動うち破って、11月ストうちぬく」—あいさつに立つ永田支部長

固として打ち抜き、反動中曾根内閣打倒にむけ、一丸となって闘うとの方針を満場一致で決定した。最後に、大会宣言を採択し、永田支部長の音頭で団結ガンパローを三唱し、大成功をかちとつた。

新役員体制	
支部長	永田雅章 電運士 四一
副支部長	白井敏行 " 四一
書記長	内山等 " 三九
執行委員	加藤正人 " 四〇
	梅沢利男 " 四一
	石井映 " 四二
	角田清明 " 四三
	林利明 " 三六
	後藤俊哉 " 二五
	相原照二 " 四二
	江口治男 " 四一
青年部長	中村仁 " 二六

### 11次回労働学校の御案内

#### 第七回講座

日時 11月9日(土) 13時30分  
講師 立正大学教授・浅田光輝氏  
テーマ 「労働者階級と国家」



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!